

ふくおかのふくし

1月号
2011.125号



篠栗町社会福祉協議会 福祉餅つき大会
～町内在住70歳以上の一人暮らし高齢者にお餅とおにぎりを～
(平成22年12月19日 篠栗町)

新年を迎えて 平成23年 年頭あいさつ

- 全国社会福祉施設経営者協議会 アクションプラン2015発表

地域の**社会的信頼**に応える**公正**で**倫理的**な経営を実践するために

- 社会福祉施設防災セミナー

災害から施設利用者の**安心・安全**を守るために

- 社会福祉施設防災訓練

命を守るために、今、私たちができること

- 赤い羽根自販機

県民の皆様のあたたかいご協力により、県内設置**90台**突破

平成23年 年頭あいさつ



共助社会づくりを目指して



福岡県知事 麻生 渡



あけましておめでとうございます。

皆さまには晴れやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年、新興国の台頭が著しく、わが国は、こうした国々から多くの挑戦を受ける立場に置かれています。また、国内では少子高齢化に伴い、速いスピードで社会の変化が進んでいます。

国の内外が激動の時代にある今、福岡県は、変化の本質を良く見極め、時代に対応していくとともに、アジア諸国と友好と平和を保ち、さまざまな分野での交流を進めながらアジアとともに発展することを目指さなければなりません。また、福岡のおおらかで明朗、かつ親切という素晴らしい県民性を生かし、ともに支え助け合う共助社会をつくる必要があります。

このような視点から、今年も県政運営に邁進してまいります。

わが国の経済は、長期のデフレや急激な円高などさまざまな課題を抱えており、雇用情勢は依然厳しい状況にあります。そのような状況を受け、県では、農業や福祉介護など人材不足分野への人材移転をはじめ、年代に応じたきめ細かな就職支援や職業能力の向上、新卒者の就職支援など、雇用創出、雇用確保に全力をあげて取り組みます。

わが国は、急速な高齢化の進展に伴い、生産年齢人口が大幅に減少することが予測されています。今後も活力ある社会を維持するためには、意欲にあふれ、経験や知識の豊富な高齢者が、社会で活発に活動いただくことが必要です。そこで、県では、70歳を過ぎても現役で活躍することのできる社会を目指す「70歳現役社会づくり」や、高齢者が安心・安全に運転できる自動車を開発する「高齢者にやさしい自動車の開発」を推進しています。高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを目的とした「ねんりんスポーツ・文化祭」も開催します。このように高齢者が毎日を元気に過ごし、はつらつと活躍することのできる社会づくりを進めてまいります。

また、少子化の流れに歯止めをかけるため、独身者の出会いを応援する「新たな出会い応援事業」の推進や「子育て応援宣言企業」5千社、「子育て応援の店」2万店の登録を新たな目標とし、結婚・子育てを応援する社会づくりを一層推進します。

さらに、障害者がいきいきと地域で暮らすことができるよう社会参加や雇用の拡大を図るとともに、障害者がつくった芋焼酎「自立」をはじめとする「まごころ製品」の販売促進に努め、障害者の所得向上を目指す自立支援施策を推進します。

女性の再就職や母子家庭の就業支援、新生活産業の育成にも取り組み、女性の社会進出を応援します。

県民の皆さんの安全・安心の生活を守るため、「福岡県暴力団排除条例」を活用し暴力団撲滅に取り組むとともに、飲酒運転の根絶、高齢者の交通事故防止など交通安全運動を推進してまいります。

本年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

新年を迎えて



官民一体となった 実効性のある取り組みを実施

福岡県社会福祉協議会 会長 平山 良明

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃から、社会福祉の推進に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、相次ぐ高齢者の所在不明問題や孤立死の増加、後を絶たない児童虐待など、家族間や住民同士の関係の希薄化を一因とするさまざまな社会問題が発生しており、ひとり暮らし高齢者や障害者等の方々が、地域で安心して暮らしていけるようそれぞれの地域における生活課題を的確に捉え、官民一体となった見守り体制や住民同士の支え合いの仕組みを再構築することが強く求められています。

このような中、福岡県社協では、高齢者の健康づくりや介護予防、仲間づくりを目的とした「ふれあいいきいきサロン活動」の普及促進や、本会が実行委員会事務局を担っている「ねんりんスポーツ・文化祭」事業に関係機関・団体と協働して取り組むとともに、県の新たな取り組みである「70歳現役社会づくり」にも積極的に協力してまいります。

一方で、サービスの質を確保するための福祉・介護職の人材不足は依然として深刻な問題であり、^{いのち}生命と人権を守るにふさわしい労働環境の確保とともに専門性を高める取り組みが喫緊の課題となっています。

福岡県社協では、福岡県独自の緊急雇用対策事業として「福祉・介護人材育成就業促進事業」を受託し、各社会福祉施設種別協議会等と連携を図りながら雇用・人材の確保に重点的に取り組んでおります。

また、経済不況が長期化する中、セーフティネットとしての生活福祉資金貸付や生活支援の適正な取り組みもますます重要となっており、福岡県社協では、失業等で生活にお困りの方に効果的な支援が実施できるよう、福岡県や市区町村社協、行政と協力し、生活福祉資金貸付制度の適正な運用に全力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、福岡県7月豪雨災害や福岡西方沖地震等における災害復旧活動の経験を活かし、地域福祉活動としての災害対策の充実に努めていくとともに、施設利用者が安心・安全に生活を営めるよう、社会福祉法人、施設における防災意識の向上や災害対策の強化に努めてまいります。

これらの事業の実施により、福岡県社協に寄せられる期待は非常に大きく、責任の重さを痛感しております。時代の変化に柔軟かつ先駆的に対応し、誰もが相互に協力し支え合う共助社会を目指して、幅広い連携を基本に地域福祉を推進している社会福祉協議会の専門性と機動力をこれまで以上に発揮し、県政と社会福祉施設等、福祉サービスを提供する事業者と一体となった実効性のある事業に本年も取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

地域の社会的信頼に応える

公正で倫理的な経営を実践するために

全国社会福祉施設経営者協議会は、11月24日に沖縄県で開かれた「第29回全国社会福祉施設経営者大会」で、社会福祉法人が2011年度から5年間かけて取り組むべき課題を示した「アクションプラン2015」を発表しました。

「アクションプラン2015」は、経営協加入する社会福祉法人が2011年から2015年度に取り組むべき中期行動計画のことです。「新・アクションプラン21」（2006年から2010年度）に続くもので、全国社会福祉施設経営者協議会の総務委員会が昨年の7月から11月にかけて検討されました。

「アクションプラン2015」は

社会福祉法人の機能

行政との協力・連携により福祉サービスを提供。

市場で利用者との対等な関係に基づいて福祉サービスを提供。

制度の狭間にあるニーズに応える。

アクションプラン2015より

社会福祉法人の機能を次のように定義した上で、社会福祉法人が税の減免などの公的支援や、寄付・ボランティア活動など国民の支援を受ける極めて公共性の高い法人であることから、公正で倫理的な経営を実践することは不変的かつ絶対的命題であるとしています。

アクションプラン2015 重点事項

- サービスの質の向上
- 公共的・公益的取り組みの推進
- トータルな人材マネジメントの実現
- 組織統治の確立

中期行動計画としては、「新・アクションプラン21」が社会福祉法人に求められる取り組みとして挙げた項目を再編し、次のような重点課題を掲げています。

この重点課題に基づき、「アクションプラン2015」では、福祉サービスの質の向上を目指す取り組みとして、福祉サービス第三者評価や外部評価の積極的受審、苦情解決第三者委員会の推進などを挙げています。

公益的取り組みについては、低所得者への積極的対応や、地域ニーズに即した取り組みである「1法人1実践活動」の実施について示しています。

また、「アクションプラン2015」では、期待する職員像の提示や職員の処遇向上も盛り込んだ他、理事会や評議員会など法人の機能強化も求めています。

福岡県経営者協議会の今後の取り組み

社会福祉事業の主たる担い手であることを自覚した

良質かつ適切な福祉サービスの提供を目指して

福岡県社会福祉施設経営者協議会 会長 森田 公一 氏

福岡県社会福祉施設経営者協議会とは、児童・障がい・老人等の福祉事業を行っている、公の認可を受けた社会福祉法人で組織された団体です。事業としては、研修・調査研究・連絡調整・情報交換等を行っています。

そこで、福岡県社会福祉施設経

営者協議会としては「アクションプラン2015」で示される重点課題①サービスの質の向上②公共的・公益的取り組み③トータルな人材マネージメントの構築④組織統治機能の強化を中心に事業計画を策定するとともに、地域主権（地方分権）の流れの中で、地方自治体との良好な関係をどのような構築していくかということも、大変重要な課題だと捉え事業計画に盛り込むよう考えています。

各県の社会福祉施設経営者協議会の代表が集まり全国社会福祉施設経営者協議会を組織していますが、この全国組織の中で3期（1期5年）にわたり、中期事業計画を策定し、活動理念と目標、事業展開の方向性を示してきました。

4期目のプランとして「アクションプラン2015」を策定

平成23年度福岡県経営者協議会の取り組み (概要)

- 1 サービスの質の向上
 - ・ 各種制度改革への適切な対応と諸課題への対応
 - ・ 情報伝達機能の強化
- 2 組織統治機能の強化
 - ・ 研修事業の充実

し、詳細を本年度末には発行します。

そこで、福岡県社会福祉施設経営者協議会としては「アクションプラン2015」で示される重点課題①サービスの質の向上②公共的・公益的取り組み③トータルな人材マネージメントの構築④組織統治機能の強化を中心に事業計画を策定するとともに、地域主権（地方分権）の流れの中で、地方自治体との良好な関係をどのような構築していくかということも、大変重要な課題だと捉え事業計画に盛り込むよう考えています。

このような事業に取り組むことにより、社会福祉法人は社会福祉事業の主たる担い手であることを自覚し、福祉の向上に日々研鑽し取り組んでいく所存です。

社会福祉サービス事業者の
社会的存在感を高める取り組み

福岡県社会福祉協議会では、これまで、社会福祉施設各種別協議会と連携し、利用者の立場に立った、良質かつ適切な福祉サービスを提供するため児童福祉・老人福祉・障害者福祉分野ごとに専門委員会を設け、制度の学習や処遇の改善を検討し、研修会の企画や必要な情報の収集・提供等を行ってきました。

社会福祉施設等、福祉サービス事業者が社会的信頼に応え、もっと社会的存在感を高めるために、福岡県社協では、今後も各種別協議会と協力し、県内福祉の向上に取り組んでいくとともに、本誌を通じてそれらの取り組みについて紹介してまいります。

【問合せ先】
福祉施設部 施設課
TEL092(584)3377

社会福祉施設防災セミナー

災害から施設利用者の安心・安全を守るために

福岡県社協では、災害対策専門委員会と協力し、11月4日に福岡市のアクロス福岡で、社会福祉施設を対象とした防災セミナーを開催し、防災の基礎（地震・風水害や被災経験施設の事例報告などを行う啓発研修を実施し、当日は700人余の施設関係者が参加しました。

開会のあいさつで、福岡県社協の隈本常務理事は、これまでの福岡県社協の災害支援の取り組みや平成22年10月20日に奄美地方を襲った記録



的な大雨について触れ、社会福祉施設で防災に取り組むことの重要性を改めて訴えました。

基調説明では、福岡県社協福祉施設部施設課の矢野主査が、福岡県社協における施設の防災に対する取り組みについて説明し、県内の社会福祉法人・施設全体の災害対策を実施していくために、各種別協議会と連携し、社会福祉施設委員会内に災害対策専門委員会を設置したことや、災害対策専門委員会と協力し、施設の防災に関するアンケートを県内の種別協議会に属する施設あてに実施し、全体の7割にあたる1,032施設から回答をいただいたことなどを報告しました。

講演では、福岡県総務部消防防災課の中村良洋係長が、平成21年7月に発生した豪雨災害と福岡県の対応について説明し、福岡県が運営するメール配信サービスで災害時の情報等を知らせる防災メールまもるくん

パネルディスカッション



福岡市消防局の山下課長は、災害から身を守るポイントとして、施設付近の地形の把握や避難場所の確認、くり返しの避難訓練等をあげられました。

板屋学園椎葉副施設長は、職員が帰宅途中に土砂くずれで足止めされた事例を通じ、施設自体が災害の危険性を意識するための啓発研修の必要性を感じ、今回の研修にいたった経緯を語られました。



桜ガーデンプレイス福住の富田支配人は、2度の災害で得た教訓から、地域住民の避難所として施設のスペースを開放するなど災害時における地域と施設との連携について紹介しました。



福岡県社協の的野主査は、福岡県社協の被災地支援から、被災住民への施設開放や物資の提供など施設としての地域貢献の重要性について説明しました。

の取り組みを紹介しました。

日本防災士会の橋本茂常任理事の講演では、近年の災害を振り返り、大規模災害時の行政対応の限界を知り、日頃の経済活動や地域の諸活動と連動した「防災のまちづくり」の重要性について語られました。

パネルディスカッションでは、日本防災士会の橋本常任理事をコ

ディネーターに、パネリストとして福岡市消防局警防課の山下周成課長、障害者支援施設板屋学園 椎葉亮副施設長、新潟大水害と2度の震災で被災した桜ガーデンプレイス福住の富田幸二支配人、福岡県社協福祉施設部施設課の的野主査等が最近の自然災害について討議を行いました。

社会福祉施設防災訓練

— 命を守るために、今、私たちができること —

日 時 平成23年1月19日（水）・25日（火）11時開会
会 場 クローバープラザ 体育館・グラウンド（春日市原町3-1-7）

主な内容 状況に応じた利用者の避難訓練、瓦礫救出訓練、土のう積み訓練、地震体験車による震災訓練、応急処置訓練、災害伝言ダイヤル体験等

対 象 社会福祉施設役職員、市町村防災関係職員等

主催 福岡県社会福祉協議会

共催 福岡県社会福祉施設経営者協議会、福岡県乳児院協議会、福岡県児童養護施設協議会、福岡県母子生活支援施設協議会、福岡県身体障害者施設協議会、福岡県知的障害施設協議会、福岡県老人福祉施設協議会、福岡県婦人保護・救護施設協議会、福岡県保育協議会

後援 福岡県

【問合せ先】福岡県社協 福祉施設部 施設課 TEL092(584)3377

※社会福祉施設防災訓練の詳細は次号で紹介します。

施設利用者の

安心・安全を守るために

障害者支援施設千歳療護園（久留米市田主丸町）では、11月9日に浮羽地区防災協会と浮羽消防署と合同で火災発生時の避難訓練と恒例のもちつき大会を実施しました。

訓練は職員が少ない夜間帯（午前1時30分）に火災が発生した想定で実施されました。82名の利用者的大半が車いすを使用していますが、職員4人が迅速に避難させ、火災発見から7分26秒で全員を避難させることができました。

その後行われたもちつき大会は、千歳療護園と浮羽地区防災協会、浮羽消防署が毎年実施する年末の恒例行事で今年で30回目を迎えます。

30キロの餅米を使用し、浮羽地区防災協会の樋口会長と利用者の

障害者支援施設千歳療護園の防災訓練

方々が一緒にきねでついた、できたの餅は、格別の様で、みなさんおいしそうに召し上がっていました。

千歳療護園の日野理事長は「地域の消防署と防災協会の方とともに避難訓練を実施し日頃から災害に備えることは、施設の防災に有効です。利用者はもちつき大会を大変楽しみにしており、今後も続けていきたい。」と語られました。



避難訓練の後、地元の消防署と防災協会の方とともにもちつき大会を行いました。

【問合せ先】福祉施設部 施設課
TEL092(584)3377

県民の皆様にあたたいご協力により

赤い羽根自販機 県内設置90台突破

福岡県共同募金会では、飲料会社と協力し、飲み物を購入すると、その売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機募金「赤い羽根自販機」を推進しています。

「赤い羽根自販機」は、設置者に売上の13%から20%が手数料として支払われるだけでなく、売上の一部が赤い羽根共同募金へ寄付される募金付き自動販売機です。

身近な地域福祉活動を応援する取り組みとして、公民館や病院、企業などで設置に協力いただいております。12月末現在、県内28市町に95台を設置しています。

赤い羽根自販機で 企業の地域貢献を実施

㈱ブリヂストン甘木工場（朝倉市）では、従来から共同募金運動にご協力いただいておりますが、今回、新たな地域貢献活動として、赤い羽根自販機を設置されました。

この自販機は通常よりも安価



募金付き自動販売機
「赤い羽根自販機」

な値段で販売しており、地域貢献としてだけでなく、従業員1,500名の福利厚生の一環としても活躍しています。

担当の方は、「これまでも企業として募金をしていましたが、この自販機は、飲料を買うだけで、購入者一人一人が募金できます。身近な地域への社会貢献活動の一つとして、私たちも今後協力をしていきたいと思っています。」と話していただきました。



地域全体で協力 島廻行政区の取り組み

川崎町の島廻行政区では、公民館や個人宅前など、3台の赤い羽根自販機を行政区内に設置しています。

区長であり、自身の自宅前にも自販機を設置いただいた中川さんは、「最初は子どもたちのたまり



赤い羽根自販機を設置いただいた島廻行政区長の中川さん

場になったり、ゴミが散乱したりするんじゃないかと心配してしました。しかし、実際設置してみると、そんな心配は全くなく、暗い道路が自販機の光で明るくなった。遠くまで飲料を買いに行く必要がなくなったり、募金以外の利点もたくさんありました。」と語ってくださいました。

【問合せ先】
福岡県共同募金会
TEL092(584) 3388

地域の身近な福祉活動に役立てられています。

歳末たすけあい募金

福岡県共同募金会では、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、昨年も歳末たすけあい運動を12月1日から12月31日までの1か月間実施しました。

みなさんのあたたかい気持ちがかもったこの浄財は、支援が必要な方への見舞い金事業だけでなく、子育てサークル・子育てサロン活動、一人暮らしのお年寄り等への見守り・訪問活動やおせち料理の配布等の地域の身近なたすけあいの活動に役立てさせていただきます。皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

一人暮らし高齢者への年賀状

12月1日に西鉄福岡駅周辺で行った街頭募金では、福岡医療短期大学、大村美容専門学校、麻生外語観光&製菓専門学校、福岡航空ビジネス専門学校等のボランティア38名を含め、総勢74名が募金呼びかけました。

福岡県共同募金会うきは市支会では、歳末たすけあい募金の配分金により、一人暮らしの高齢者への年賀状配布を行っています。吉井幼稚園の園児達が、以前、一人暮らし高齢者交流会で交流したおじいちゃん・おばあちゃんへ年賀状を贈り、お便りでの交流を行いました。



園児達は、保育士の先生に教わりながら、今年の干支のうさぎを描いた年賀状を作成し、一枚一枚に手描きのメッセージを書き込みました。



園児からの年賀状をもらった高齢者は「習ったばかりの字で、一生懸命年賀状を書いてくれた姿が目につかぶようで、温かい気持ちになったお正月でした。」と嬉しそうに語ってくださいました。

歳末たすけあい募金は、このよ
うな地域の交流事業にも使わ
せていただいています。

ありがとうございます。匿名の寄付が届きました。

去る12月24日のクリスマスイヴの日に、福岡県共同募金会あてに匿名で20万円の現金が東京千歳の消印のある封書で届きました。

共同募金の運動期間中に本会に届いたこと、また、現在、全国各地で、児童相談所や児童養護施設に「伊達直人」名でのランドセル等の寄贈が相次いでいることと同様に、あたたかい善意によるものと判断し、12月27日に福岡県共同募金会及び福岡県社協のホームページを通じて公表いたしました。

この浄財につきましては、篤志家の方のご寄付として、平成22年度の歳末たすけあい募金として受け入れ、福岡県内にある児童福祉施設の中学校卒業者へ進学・就職準備のための支援金の一部として活用させていただきます。

寄付者の方のあたたかいお気持ちに感謝いたします。本当にありがとうございました。

【問合せ先】福岡県共同募金会 TEL 092-584-3388

「二歩踏み出す お母さんの勇気 あなたの勇気」

～幸福をめざす母と子に施設や社会の果たす役割とは～

九州社会福祉協議会連合会、九社連母子生活支援施設協議会、福岡県社協、福岡県母子生活支援施設協議会では、12月9日・10日に福岡市のヒルトン福岡シーホークホテルで九州ブロック母子生活支援施設研究協議会を行い、母子生活支援施設施設職員、女性相談員、家庭相談員、母子自立支援員、民生委員児童委員、行政関係者及び社協役員等80人が一堂に会しました。

氏をコーディネーターに、パネリストに全国母子生活支援施設協議会の児森会長、全国母子生活支援施設協議会大塩孝江副会長、熊本県母子生活支援施設協議会嶋村聖子会長を迎えて、「母親として、女性として」というテーマで、実際の事例を用いながら、諸課題に対する取り組みや職員の資質向上等について熱い議論を交わしました。

研究協議会では、全国母子生活支援施設協議会の児森和夫会長が、「全国の母子生活支援施設における現状と課題」について報告しました。

続いて行われたシンポジウムでは、全国母子生活支援施設協議会副会長であり、九社連母子生活支援施設協議会会長である渡辺英秋



全国母子生活支援施設協議会 児森会長



九社連母子生活支援施設協議会 渡辺会長



2010

福岡県障害者文化祭

みんな元気！
ハートがあたたかい！

12月4日に福岡市中央区のエルガラ・パサージュ広場で実施された福岡県障害者文化祭では、障害者の方の「絵画」、「写真」、「俳句」などの展示、また、JOY倶楽部ミュージックアンサンブルによる演奏や、障害者の方がつくられた木工製品やパン・菓子の展示販売等を通じて、障害者の方の活動について県民の皆さんの関心と理解を深めることを目的に開催されました。

麻生福岡県知事は、あいさつの中で、「今年、障害者のみなさんが栽培したさつまいもで作った焼



麻生福岡県知事



酎「自立」は、県民の皆さんに応援していただき、8,000本も売れました。今後もこのような取り組みを継続し、成功させて、障害者の皆さんの収入をあげていく活動を実施していきます。本日の障害者文化祭を契機とし、障害者の皆さんの文化活動が楽しく行われるよう県民の皆さんのご理解とご支援をよろしくお願いします。」と協力を呼びかけました。

会場には、NHK福岡ハートパーク展で、障害者の方が「元気」をテーマに描いた約600点の応募作品の中から、約70点の作品が展示され、来場者に深い感動を与えていました。

また、知的障害者授産施設JOY倶楽部「ミュージックアンサンブル」による演奏が行われ、その優しい音色に会場全体が温かい雰囲気になりました。

社会福祉施設に

2,728万円の助成金

財団法人中央競馬馬主社会福祉財団と社団法人九州馬主協会による平成22年度助成事業施設整備費目録贈呈式が11月9日、北九州市のJRA小倉競馬場で行われました。

この助成金は中央競馬の積立金の一部を、中央競馬馬主社会福祉財団で全国の障害者・老人・母子児童の各福祉施設に助成金を交付しているものです。

贈呈式では、九州馬主協会の梶原重雄会長が「厳しい経済状況の中、馬主の福祉に対する真摯な気持ちをご理解いただき、有意義にご活用いただきたい。」とあいさつされました。

また、中央競馬馬主社会福祉財団の本多久雄事務局長は「交付を受けた12法人の皆様は善意の浄財であることを念頭に有効に活用いただくとともに、交付決定後の事務処理についても適正にお取り扱いいただきたい。」とあいさつさ



中央競馬馬主社会福祉財団
本多久雄事務局長



九州馬主協会梶原会長



れ、梶原会長から各助成決定施設に目録が手渡されました。

その後、助成施設を代表して、社会福祉法人八女福祉会の紫原明廣理事長が「いただいた助成金をご期待に反することにないよう利用者の方々のために有意義に活用させていただきます。」とお礼の言葉を述べられました。

社団法人 福岡県医薬品配置協会

医薬品をもっと社会に役立てたい



福岡県保健医療介護部田先薬務課長(右)福岡県老人福祉施設協議会原会長(左)

(社)福岡県医薬品配置協会では、医薬品及び寄付金を社会に役立てたいという思いから、県内の養護老人ホーム10施設に目薬、キズ絆、貼り薬各500個の寄贈、及び(財)福岡県メディカルセンターへ20万円の寄付をされました。

12月7日に吉塚合同庁舎で行われた贈呈式では、(社)福岡県医薬品配置協会 上村光昭会長から福岡県保健医療介護部薬務課 田先弘課長へ医薬品目録が贈呈されました。続いて、田先課長から、福岡県老人福祉施設協議会 原嘉伸会長及び(財)福岡県メディカルセンター 山岡春夫常務理事へ目録が贈呈されました。

受贈者を代表して、原会長は「高齢者が日常使う機会の多い目薬や、貼り薬を寄贈いただき大変助かります。いただいた医薬品は有効に使わせていただきます。」とお礼の言葉を述べられました。

【問合せ先】福祉人材・情報部 人材・情報課
TEL 092(584)3310

社会福祉法人 読売光と愛の事業団

母子生活支援施設へ 歳末の贈り物



読売新聞西部本社山本豊事業部長(右)百道寮の濱崎幸洋施設長(左)

社会福祉法人「読売光と愛の事業団」は、母子家庭の援助事業として、毎年、福岡県母子生活支援施設を通じ、政令市と県域所在施設利用者に対し隔年ごとにクリスマスや年越しの一助にと、寄贈をいただきました。

本年度は政令市所在施設が対象となっており、1世帯につき1万円を贈呈し、127世帯、127万円を寄付されました。

12月17日に読売新聞西部本社で実施された贈呈式では、読売新聞西部本社 山本豊事業部長から、母子生活支援施設を代表して、百道寮の濱崎幸洋施設長と、八幡母子寮の花田拓二施設長に目録が贈呈されました。

いただいた浄財は、母子生活支援施設の子ども達へのクリスマスプレゼントや新たな年を迎えるための準備として有効に活用させていただきます。

【問合せ先】福祉施設部 施設課
TEL 092(584)3377

相談 あれこれ

このページは、QアンドA形式で、法律に関わる、高齢者の生活問題について取り上げ、それに対する対応策や制度について紹介します。

Q 高齢者をターゲットとした悪徳商法について

一人暮らしの友人（78歳）を訪ねると、使いそうもない健康機器が部屋の中にたくさんありました。高齢者をターゲットとした悪徳商法の対応や予防について教えてください。

A 消費者生活センターに相談

県や市町村に消費生活相談窓口があり、専門の相談員が相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

福岡県消費生活センター

問合せ先

092-632-0999

相談時間(土曜・祝日はお休み)

月～金 9:00～16:30

日曜日 10:00～16:00(電話相談のみ)

福岡市博多区吉塚本町13-50

福岡県吉塚合同庁舎1階

A 知っておきたいクーリングオフ制度等

訪問販売の場合は、以下の解決方法が考えられます。

まず、契約書面をもらってから8日までは、無条件で解除ができます。(クーリングオフ) 契約書面の記載内容が法律で決められたと

おりになっていない場合は、8日を過ぎていてもクーリングオフできる場合があります。

また、クレジット支払い総額や商品の品質等に関して勧誘員から事実と違うことを告げられたと気づいてから6ヶ月、または、契約から5年以内に取り消す必要があります。

日常生活において通常必要とされる分量を著しく越える商品を買った場合は、買ってから1年以内に限り解除できます。(過量販売解除) 過量販売解除ができる典型例は布団などですが、健康器具も内容によっては、過量販売として解除できる余地があります。

以上の解除、取消は販売契約だけでなく、クレジット契約についてもでき、今まで支払った代金の返還請求ができます。

また、店舗で買った場合は、クーリングオフと過量販売による解除はできませんが、事実と違うことを告げられた時は、販売契約の取消ができ、少くとも今後の支払いは拒絶できます。

法律相談

【問合せ先】 福岡県社協 福祉振興部 相談課

相談日 毎週水曜日

相談時間 13:00～16:00 (予約制)

T E L 092-584-3344

お知らせ 掲示板

* 1月からの行事予定について紹介します。

お知らせします

福岡県里親シンポジウムの開催について

目的

虐待や親の病気など、さまざまな事情により、家庭を離れて生活しなければならぬ子どもたちが増える中、子どもを家庭に迎え、あたたか

い環境の中で育てる里親の役割はますます重要です。しかし、現在の要保護児童の里親委託率は、10%程度であり、社会で里親制度に関する理解が進んでいるとはいえない状況です。

そこで、広く、県民及び関係者に里親制度への理解と協力を得ることを目的にシンポジウムを開催し、里親制度の普及啓発に努めます。

日時

平成23年1月31日(月)

13時30分から16時30分

会場

ユメニティのおがた 小ホール

(福岡県直方市山部)

定員 200人

内容

○講演

「いま、なぜ里親なのか」

～里親制度・里親養育の現状と今後のあり方～

青山学院大学 教授 庄司順一氏

○シンポジウム

「家庭で育まれるぬくもり」

コーディネーター

九州大学教授 松崎佳子氏

参加申込み

事前申込みを推奨、当日参加も可。

託児は事前申込みが必要。

主催 福岡県

後援

福岡県里親会、福岡県児童養護施設協議会、福岡県乳児院協議会

問合せ先

福岡県福祉労働部児童家庭課

児童福祉係

TEL092(643)3256

「子育て応援宣言企業3000社大会」

目的

県では、仕事と子育ての両立ができる職場環境づくりのための取組を、企業・事業所のトップが自主的に宣言する「子育て応援宣言企業」登録制度を、全国に先駆け平成15年度から推進しています。

これらの取組成果を、子育て支援に関心のある企業や県民と広く共有することにより、社会全体で子育てを応援するという気運を高め、宣言企業のさらなる拡大を図ります。

日時

平成23年2月3日(木)

13時30分から16時40分

会場

ソラリア西鉄ホテル8階「彩雲」

対象者

県内の企業代表者、勤労者、学生等の一般県民(定員600名)

内容

○優良企業の表彰

○基調講演

「ワークライフバランス実現のための時間管理の目的とノウハウ」企業も、働き手も、ハッピーになる」

講師 (株)イー・ウーマン代表取締役社長 佐々木かをりさん

※他、ミニワークショップ有り

申込み先

「子育て応援宣言企業3000社大会」運営事務局

FAX092(733)0712

Eメール kosodate@ahc-net.co.jp

①お名前、②電話番号、③会社名と所属名、④託児希望の有無(有の場合はお子様の人数と年齢)

福岡県ホームページURL

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/a04/taikai3000.html>

携帯URL

<http://www.shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/k/>

※参加費無料

問合せ先

「子育て応援宣言企業3000社大会」運営事務局

(株)アソウ・ヒューマニセンター内

TEL092(733)8293

FAX092(733)0712

主催

福岡県新雇用開発課

TEL092(643)3586

夢に向かうあなたをサポート



福岡県介護福祉士等修学資金貸付事業

福岡県介護福祉士等修学資金貸付事業とは…

介護福祉士・社会福祉士の養成施設に在学する学生で、将来福岡県内において介護業務等に從事しようとする方に対し、資金の貸付を行う制度です。

■貸付対象者

- (1)福岡県内に居住していること。(ただし、県外に居住している者で県内の養成施設に進学又は在学している者を含む。)
- (2)厚生労働省指定の養成施設に在学していること。
- (3)修学に際し、経済的援助を必要としていること。
- (4)養成施設の長が推薦する者であること。
- (5)養成施設を卒業後、福岡県内で介護業務等に從事しようとする者であること。

■貸付制度の概要

- (1)貸付額
月額／50,000円以内
入学・就職準備金／各200,000円以内
(各1回のみ)
- (2)利 子／無利子
- (3)貸付期間／養成施設に在学している間
- (4)保 証 人／連帯保証人2名が必要
- (5)返還免除／
養成施設を卒業した日から1年以内に、福岡県内において介護業務等に5年間従事した場合

貸付対象の養成施設

お問合せ先は各施設へ

実施主体

- (1)介護福祉士指定養成施設
東筑紫短期大学(保育学科専攻科介護福祉専攻)／精華女子短期大学(専攻科保育福祉専攻)／西日本短期大学(社会福祉学科)／福岡医療短期大学(保健福祉学科)／九州大谷短期大学(専攻科福祉専攻・福祉学科)／専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ北九州校(介護福祉科)／麻生医療福祉専門学校福岡校(介護福祉科・ソーシャルワーカー科)／福岡医療秘書福祉専門学校(介護福祉科)／大原保育医療福祉専門学校(介護福祉学科)／福岡介護福祉専門学校(介護福祉科)／平岡介護福祉専門学校(介護福祉科)／北九州保育福祉専門学校(介護福祉科・介護福祉専攻科)
- (2)社会福祉士指定養成施設
麻生医療福祉専門学校福岡校(社会福祉士養成通信課程)／F・C洲上医療福祉専門学校(社会福祉士養成科・社会福祉科通信課程)／専門学校共生館国際福祉医療カレッジ(社会福祉士通信学科)

社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会(総務課)
〒816-0804
春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL:092-584-3377

社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

迅速で丁寧、かつ適正なお支払い!!

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>



プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、傷害保険、動産総合保険)

▶ 補償金額

	基本補償(A)	見舞費用付補償(B)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
事故初期見舞費用(1名につき)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (通算で10万円限度)	死亡 10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (通算で10万円限度)
利用者傷害死亡事故弔慰金		死亡(重度後遺障害) 100万円(78~100万円)
利用者傷害事故見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険金(掛金)

● 基本補償(A) 保険期間1年職種級別A級

定員	基本補償(A)
1~50名	33,000~59,400円
51~100名	66,000~94,200円
101~150名	96,000~103,200円
151~200名	104,700~110,700円
以降1名~10名増ごと	1,500円

● 見舞費用付補償(B)

基本補償(A) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,400円 通所: 1,500円
----------------	---	---

● オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償 ● オプション2 ● 施設の医療事故補償

② 個人情報漏えい対応補償

施設の利用者の個人情報が万一漏えいし、法人に法律上の賠償責任が発生した場合の損害賠償金等を補償

③ 施設の什器・備品損害補償

○ 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
○ 施設の現金等も補償

プラン2 施設利用者のための補償 (傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償 ② 通所型施設利用者の傷害事故補償

▶ 補償金額

	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	死亡保険金額の3~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円
通院保険金(1日あたり)	500円

▶ 年額保険料(掛金) 保険期間1年職種級別A級

	定員1人1口あたり
入所型施設利用者	1,410円
通所型施設利用者	960円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員のための補償 (労働災害総合保険、傷害保険、約定履行費用保険)

① 施設の労災上乗せ補償 ② 施設職員の傷害事故補償 ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします

団体 社会福祉法人
契約者 全国社会福祉協議会

取扱 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン 〈SJ09-08936, 2010/02/19〉

● この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

人が人を支える

みんなの笑顔が
見たから頑張っています。

平 直美さん
(特別養護老人ホーム 恵昭園 介護職員)

福祉の就職総合フェア2011

福祉の職場合同就職面談会

平成23年2月4日(金) 10:30~16:00 (受付10:00~)

クローバープラザ(春日市原町3-1-7)

どなたも参加可

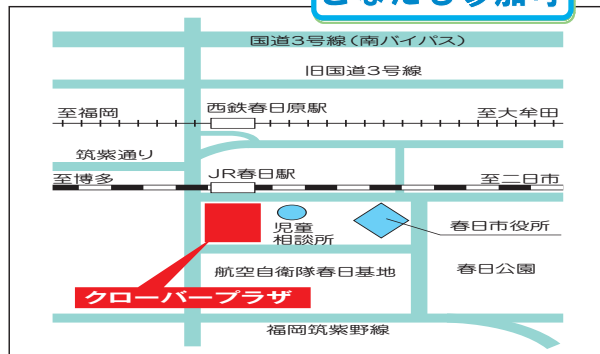
託児無料 ※ご希望の方は下記へ連絡ください。

問い合わせ先

福岡県社会福祉協議会 人材・情報課
(福岡県福祉人材センター)

福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ 東棟2階

☎092-584-3310



駐車場は大変混み合いますので、公共交通機関をご利用ください。

●最寄りの交通機関 JR春日駅から徒歩約1分、西鉄電車春日原駅から徒歩約8分

主催/福岡県社会福祉協議会

共催/福岡中央公共職業安定所、久留米市・飯塚市・行橋市・北九州市各社会福祉協議会福祉人材バンク、全国社会福祉協議会中央福祉人材センター

後援/福岡県、厚生労働省、福岡労働局、各社会福祉施設種別協議会、福岡県社会福祉施設経営者協議会、福岡県看護協会、福岡県母子寡婦福祉連合会

福祉人材センターでは、日頃から福祉の仕事の無料職業紹介を行っています。

また、福祉の仕事、資格、学校等の相談も行っていますのでご利用ください。

HP「福祉のお仕事」 <http://www.Fukushi-work.jp>



この広報紙は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。